

申入れ書

小牧基地指令・木村政和様および隊員の皆様へ

防衛省は5月22日、陸上自衛隊と米海兵隊による共同訓練「レゾリュート・ドラゴン26」(6月20日～6月30日)と、米軍が主催する自衛隊やその他の国々(詳細不明)による多国間演習「ヴァリアント・シールド2026」(6月22日～7月1日)をそれぞれ行うことをホームページで公表しました。

「レゾリュート・ドラゴン」は九州・沖縄で「反撃能力」「輸送能力」向上に向け、自衛隊約7300人、米軍約2300人が参加する予定で、民間港湾・空港も利用した訓練がすでに開始されています。

「ヴァリアント・シールド2026」では、この訓練に合わせて米軍のタイフォンとハイマースが鹿児島県にある鹿屋航空基地に搬入・展開され、その期間は9月に予定されている「オリエン特・シールド」終了後、10月中旬頃まで長期にわたる予定です。

タイフォンは射程1600kmを持つトマホークミサイルを発射出来、昨年、岩国基地に国内で初めてタイフォンが展開された際は、中国やロシアからの反発の声も上がりました。鹿屋航空基地周辺では、いざとなれば自分たちも攻撃されてしまうのではないかという不安の声が出ています。

私たちは、そもそも南西諸島を中心に、他国からの攻撃を想定すること自体、現実的ではなく、軍事演習を行うことは中国や周辺国に対する軍事的威圧につながり、また国内における軍事増強・戦争準備促進世論を形成するためのものであると考えます。そして、トマホークミサイルを発射できるタイフォンを展開することは、「専守防衛」を超えた「先制攻撃能力」の獲得につながるものであり極めて危険で挑発的な行為であると深く危惧します。今後25式地对艦誘導弾(旧称12式地对艦誘導弾能力向上型)が配備されることで、この危惧はますます深まると考えます。

2026年2月28日、アメリカとイスラエルは国連憲章における自衛権および集団的自衛権行使の規定に完全に違反したイランへの攻撃を開始しました。4月初旬の段階で米国に拠点を置く「人権活動家通信(HRANA)」は254人の子どもを含む少なくとも3636人が虐殺されたと発表しています。

国際法違反、戦争犯罪でしかないアメリカとイスラエルの蛮行を、日本政府は公式に非難することなく、むしろ長年イランが否定している核開発疑惑を非難するばかりです。そして今、自衛隊の掃海艇による機雷除去活動の可能性が取りざたされています。

私たちは、専守防衛を超えた攻撃能力を持ち、それを誇示すること、また明確な国際法違反であるイランへの武力行使に反対せず、そのしわ寄せを自衛隊員のみなさんに押し付けようとしていることに反対します。「有事」となれば、犠牲になるのは自衛隊員のみなさんであり、基地周辺や自衛隊が展開する予定地域の市民です。

憲法が禁じている武力行使、戦力の不保持を遵守することこそ、自衛隊の任務であり、自衛隊員のみなさんと市民を守る方法です。そのために努力していただきたいと思います。

2026年6月27日

不戦へのネットワーク

名古屋市中村区那古野1の44の17 嶋田ビル203TEL050-3593-5130